



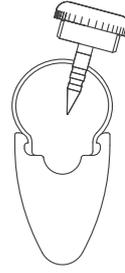
TUBELESSCUE (チューブレスキュー) 取扱説明書



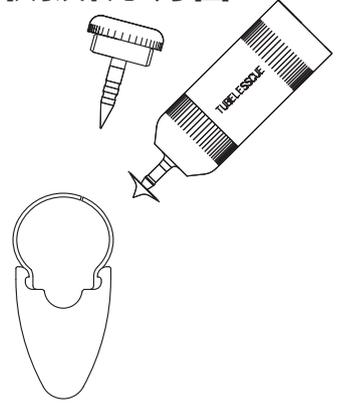
1. パンク穴を見つけます。



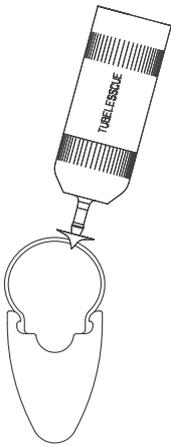
2. TUBELESSCUE本体尻栓にあるニードルで穴を塞ぎます。



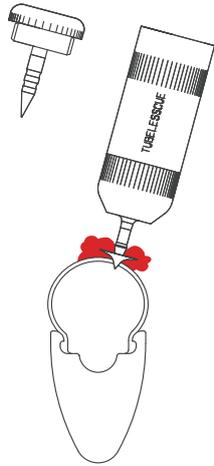
3. ニードルを根元まで差し込み、この状態でしぼんだタイヤに空気を4.0ber以上入れます。



4. セットしたTUBELESSCUEを針を抜くと同時にゴムの先端を穴に合わせ軽く押し当てます。



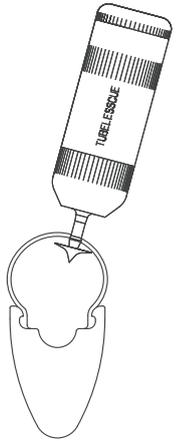
5. パンク穴にゴムが正しく当たると空気は止まります。穴位置とゴム先端がずれていると空気が漏れるので漏れなくなる位置に再度合わせてください。



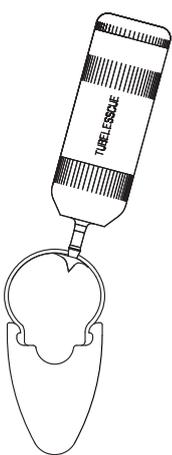
6. この状態でキャップをもどしゴムの裏表にMAKUHALを塗ります。



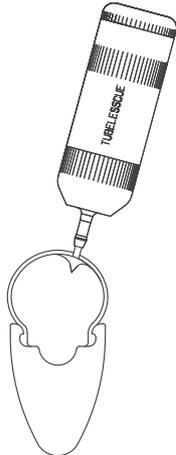
7. 位置が決まったらそのままタイヤの中心に向けてまっすぐに押し込みます。
※回しながら入れるとゴムが切れます。



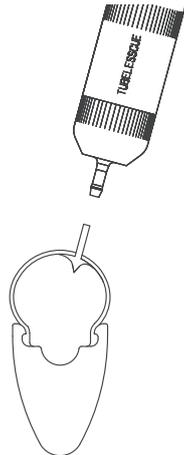
8. ゴム部分がタイヤの中に入ったのを確認したら、少し引き上げます。



9. タイヤの内側とゴムが密着するまで少し引っ張ります。



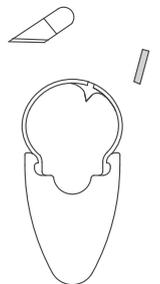
10. そこからさらに3mmほど引上げゴムにテンションがかかっている状態を20秒程度維持します。(空気漏れが止まるまで待ちます)



11. シーラントが止まるのを確認したらさらに引き上げゴムを切り離します。



12. 空気を指定圧まで上げます。エアが漏れないのを確認したら、これでパンク修理は完了です。空気は漏れないのを確認します。



13. ヒゲはタイヤのつらに合わせてカットします。

- ① ゴムが密着せず失敗した場合は同じ手順でやり直してください (1回目のゴムはタイヤの中に入れても問題ありません)
- ② 空気漏れが止まらない場合はバルブ穴からシーラントを10ml程度追加して、ゴムとタイヤの隙間にシーラントが入り込むようにパンク位置を下にして少し待ちます。